

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年1月14日
【四半期会計期間】	第50期第3四半期（自平成26年9月1日至平成26年11月30日）
【会社名】	株式会社フェリシモ
【英訳名】	FELISSIMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢崎 和彦
【本店の所在の場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 星 正
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 星 正
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第3四半期連結 累計期間	第50期 第3四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成25年3月1日 至平成25年11月30日	自平成26年3月1日 至平成26年11月30日	自平成25年3月1日 至平成26年2月28日
売上高 (百万円)	29,986	27,514	40,726
経常利益又は経常損失 () (百万円)	383	718	103
四半期(当期)純損失 () (百万円)	334	754	35
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	177	437	121
純資産額 (百万円)	26,257	26,069	26,556
総資産額 (百万円)	40,955	39,997	40,794
1株当たり四半期(当期)純損失金額 () (円)	33.94	76.45	3.55
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	64.1	65.2	65.1

回次	第49期 第3四半期連結 会計期間	第50期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年9月1日 至平成25年11月30日	自平成26年9月1日 至平成26年11月30日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	41.02	56.05

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第49期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第49期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第50期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社の連結子会社である芬理希夢(北京)商貿有限公司及び北京幸福生活貿易有限公司は平成26年7月17日に解散・清算することを決議し、現在清算手続中であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）におけるわが国の経済は、個人消費などに弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されています。しかしながら、消費マインドの低下や海外景気の下振れ等が、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、顧客数の拡大と継続的関係性の構築に積極的に取り組んでまいりました。新規顧客との接点拡大を目的とするサイトの開設や、店舗の開設、外部ECサイトへの出店等を行なってまいりました。また、ダイレクトメールの方式変換などにより休止顧客の呼び戻しを強化いたしました。

顧客数につきましては、ダイレクトメールによる獲得数は前年同期を上回ったものの、期首の顧客数が前年を下回ってスタートしたことと、新聞広告や書店カタログ等による獲得数が想定を下回ったため、延べ顧客数は前年同期と比べて減少いたしました。顧客の購入単価につきましては、高単価商品の購入比率が高まったことにより前年同期を上回りました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、27,514百万円（前年同期比8.2%減）となりました。売上高が減少したことで、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は14,333百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

売上高を品目別にみますと、生活関連分野では、「しあわせ生活プログラム」や「Couturier(クチュリエ)」の長期お届け型の商品や余暇関連商品が好調で前年同期を上回りましたが、生活関連分野全体では前年同期を下回りました。また、子ども衣料品、婦人衣料品を含む服飾・服飾雑貨分野全体では前年同期を下回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、ダイレクトメールに関する経費効率を改善させたことにより広告費は前年同期より減少いたしました。さらに、延べ顧客数が減少したことと、商品充足率の改善による別便配送数の減少により、総配送数が減少し、出荷関連費用は減少いたしました。その結果、販売費及び一般管理費は15,218百万円（前年同期比5.6%減）となり、営業損失は885百万円（前年同期は営業損失683百万円）となりました。

営業外損益では、為替差益等の営業外収益が167百万円となり、経常損失は718百万円（前年同期は経常損失383百万円）となりました。また、特別損失として中国子会社である芬理希夢（北京）商貿有限公司及び北京幸福生活貿易有限公司をそれぞれ解散・清算することを決議したことにより関係会社清算損60百万円を計上したことと、新基幹システム稼働に伴い旧基幹システム及び一部のWeb関連システム等を除却したことによる固定資産除却損62百万円を計上したことで、税金等調整前四半期純損失は841百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失386百万円）となり、四半期純損失は754百万円（前年同期は四半期純損失334百万円）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金等の金融資産の減少により前連結会計年度末と比べ797百万円減少し、39,997百万円となりました。なお、平成26年8月に前連結会計年度末に計画中であった基幹システムの改修が完成し稼働を開始しております。

負債合計は、仕入債務の減少等により前連結会計年度末と比べ309百万円減少し、13,928百万円となりました。

純資産合計は、四半期純損失の計上及び剰余金の配当等により前連結会計年度末と比べ487百万円減少し、26,069百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,427,200
計	33,427,200

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年11月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,043,500	10,043,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,043,500	10,043,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成26年9月1日～ 平成26年11月30日	-	10,043,500	-	1,868	-	4,842

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年11月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 180,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,860,600	98,606	-
単元未満株式	普通株式 2,500	-	-
発行済株式総数	10,043,500	-	-
総株主の議決権	-	98,606	-

【自己株式等】

平成26年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社フェリシモ	神戸市中央区浪花町59番地	180,400	-	180,400	1.79
計	-	180,400	-	180,400	1.79

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,549	15,783
売掛金	3,438	3,964
有価証券	750	-
信託受益権	1,595	1,716
商品	5,213	5,518
貯蔵品	120	103
未収還付法人税等	54	48
その他	864	941
貸倒引当金	64	69
流動資産合計	28,521	28,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,779	1,693
土地	3,984	3,984
その他(純額)	467	543
有形固定資産合計	6,231	6,222
無形固定資産		
ソフトウェア	1,548	4,189
その他	2,637	79
無形固定資産合計	4,186	4,269
投資その他の資産		
投資有価証券	58	176
長期預金	500	-
その他	1,299	1,325
貸倒引当金	2	1
投資その他の資産合計	1,855	1,500
固定資産合計	12,273	11,992
資産合計	40,794	39,997
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,067	2,392
支払信託	6,687	5,311
販売促進引当金	298	311
その他の引当金	317	478
その他	1,979	2,359
流動負債合計	11,349	10,853
固定負債		
退職給付引当金	2,473	2,600
その他	416	474
固定負債合計	2,889	3,075
負債合計	14,238	13,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,842	4,842
利益剰余金	20,368	19,564
自己株式	385	385
株主資本合計	26,693	25,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	13
繰延ヘッジ損益	5	63
為替換算調整勘定	144	102
その他の包括利益累計額合計	137	178
純資産合計	26,556	26,069
負債純資産合計	40,794	39,997

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
売上高	29,986	27,514
売上原価	14,524	13,167
売上総利益	15,462	14,346
返品調整引当金戻入額	136	126
返品調整引当金繰入額	164	140
差引売上総利益	15,434	14,333
販売費及び一般管理費	16,118	15,218
営業損失 ()	683	885
営業外収益		
受取利息	13	10
為替差益	184	86
受取補償金	28	13
その他	74	56
営業外収益合計	300	167
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常損失 ()	383	718
特別損失		
固定資産除却損	3	162
関係会社清算損	-	260
特別損失合計	3	122
税金等調整前四半期純損失 ()	386	841
法人税、住民税及び事業税	31	6
過年度法人税等	65	-
法人税等調整額	149	93
法人税等合計	52	87
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	334	754
四半期純損失 ()	334	754

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	334	754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	11
繰延ヘッジ損益	33	58
為替換算調整勘定	189	246
その他の包括利益合計	157	316
四半期包括利益	177	437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	437
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
当座貸越極度額	1,000百万円	1,000百万円
借入実行残高	-	-
差引額	1,000	1,000

2. 四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託

四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
支払手形	- 百万円	148百万円
支払信託	-	1,780

(四半期連結損益計算書関係)

1. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

固定資産除却損の主なものは、ソフトウェアの除却損60百万円であります。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

関係会社清算損は、連結子会社であります芬理希夢(北京)商貿有限公司及び北京幸福生活貿易有限公司の清算に伴う損失額であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
減価償却費	881百万円	957百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	147	15	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	49	5	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	33円94銭	76円45銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(百万円)	334	754
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(百万円)	334	754
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,863	9,863

(注) 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年12月5日開催の取締役会において、連結子会社であるFelissimo Universal Corporation of America及び上海芬理希夢時装有限公司の解散及び清算を決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

Felissimo Universal Corporation of Americaは、当社グループにおける経営資産の効率化のため平成23年5月に同社の土地、建物の売却を行った後、新たな事業展開を模索していましたが営業活動を停止した状態が続いているため、解散・清算することといたしました。

また、上海芬理希夢時装有限公司は、当社が中国から輸入する商品の生産及び流通加工を行う目的で、平成15年5月に設立いたしました。同社の設立によって、当社が中国から輸入する商品の品質管理面で一定の成果が得られたものの、現地の人件費の高騰が続いていることなどから収益確保が難しい状況となっており、解散・清算することといたしました。

2. 当該子会社の名称、事業内容及び持分比率

(1) 名称	Felissimo Universal Corporation of America	上海芬理希夢時装有限公司
(2) 事業内容	不動産賃貸及びメンテナンス事業 (平成23年5月より営業活動を休止)	衣料品等の生産及び流通加工
(3) 持分比率	当社(100%)	当社(100%)

3. 解散及び清算の時期

Felissimo Universal Corporation of Americaにつきましては、平成26年12月5日から現地の法令に従って解散・清算の手続きを開始し、平成26年12月末日までに同社から残余財産の分配を受けました。なお、平成27年3月末日までに清算結了となる見込みであります。

また、上海芬理希夢時装有限公司につきましても、平成26年12月5日から現地の法令に従って解散・清算の手続きを開始しましたが、清算結了までに、1年半から2年程度かかる見込みであります。

4. 当該子会社の状況(平成26年11月30日現在)

(1) 名称	Felissimo Universal Corporation of America	上海芬理希夢時装有限公司
(2) 資産総額	1,802百万円	500百万円
(3) 負債総額	1百万円	36百万円

5. 当該解散及び清算による損益見込額

現時点における試算では平成27年2月期連結決算において、Felissimo Universal Corporation of Americaの解散・清算に伴い関係会社清算益として約70百万円の特別利益が、上海芬理希夢時装有限公司の解散・清算に伴い関係会社清算損として約75百万円の特別損失がそれぞれ発生することを見込んでおります。ただし、今後の為替相場の動向により変動する可能性があります。

なお、当該解散・清算が営業活動等へ及ぼす重要な影響はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 1月14日

株 式 会 社 フ ェ リ シ モ
取 締 役 会 御 中

あ ら た 監 査 法 人

指定社員 公認会計士 萩 森 正 彦
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フェリシモの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社の平成26年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。